

平成23年度

シラバス

5年次
臨床実習2



自主創造
日本大学

日本大学松戸歯学部

臨床実習に際して

1. 院内における心得

- 1) 臨床実習は、これまで学んだ基礎知識をもとに歯科医療の実技とその修練を行うものである。特に患者様を対象とするため院内においてはこの心得を守り行動しなければならない。
- 2) 学生（以下院内生という）は臨床実習に際し教員の指示に従い、受けた指示を十分理解して行動すること。
- 3) 院内生は指導担当医の指示なく診療行為を行ってはならない。
- 4) 院内の清潔維持に常に心がけること。
- 5) 臨床実習においては各自衛生を重んじ、頭髪、口腔等身体の清潔に留意すること。
- 6) 患者さんに対しては親切丁寧に接すること。
怠慢や不親切のために患者さんに迷惑をかけてはならない。
- 7) 臨床実習においては機械器具等を丁寧に取扱い、保存、管理に十分注意すること。
- 8) 院内生は各科診療室の電話を使用してはいけない。
- 9) 診療衣のまま学外に出てはいけない。
- 10) マニキュア、指輪、ピアス、イヤリング、腕時計は禁止とする。
- 11) 茶髪は認めない。また、髪は束ねて帽子の中に入れて、垂れないようにする。

2. 院内における諸注意事項

1) 服装

- ① 院内生の服装は規定の白衣及び診療帽、マスクを着用し、また上靴を履くこと。
- ② 診療衣は常に清潔なものを着用すること。
- ③ 臨床実習時間中の私服は禁止。
- ④ 女子はスカート・キュロットまたはスラックスを着用のこと。

2) 掲示

掲示は、各学年の教室および院内生技工室入口の院内生用掲示板に掲示するので見落しのないよう注意すること。

3) 出欠席について

- ① 院内生は講義および担当患者の有無を問わず臨床実習期間中は毎日出席すること。
- ② 臨床実習期間中は無断で外出してはならない。
- ③ やむを得ない事故、または病気等により欠席するものは、臨床実習開始までに治療計画室(047-360-9582)へ電話その他で通知すること。欠席届は、前項の通知にかかわらず、欠席日より3日以内に治療計画室に提出すること。傷病による欠席が連続1週間以上の場合には、医師の診断書を添付して提出すること。
- ④ 遅刻はこれを認めない。
- ⑤ やむを得ず遅刻したとき、あるいは早退するときは、所定の手続きをとらなければならない。

4) 電話の使用について

臨床実習において学外に電話する場合は、院内生控室（内線 489, 490), 病院業務に支障をきたさないように受付を使用すること。

5) 院内の呼び出しについて

院内生同志の呼び出しは禁止。

6) 受付時間

平 日	初 診	午前 9 時～午前 11 時
	再 来	午前 9 時～午後 3 時 30 分
土 曜	初 診	午前 9 時～午前 10 時
	再 来	午前 9 時～正午

夏期診療期間及び大学行事の場合の受付時間は別に定める。

7) 喫煙について

所定の場所以外では禁煙となっている。

8) エレベーターについて

院内生のエレベーター使用を禁ずる。

3. 院内生控室

1) 院内生は下記の時間に院内生控室を使用することができる。

平 日	午前 8 時～午後 6 時 30 分
土曜日	午前 8 時～午後 3 時

2) 禁 煙

3) 共同使用の場所であり各自机の上に衣類やバック, また使用済の紙コップ等を置かないようお互いに整理整頓を心掛けること。

4. 院内技工室

1) 院内生は下記の時間に院内生技工室を使用することができる。

平 日	午前 8 時～午後 6 時
土曜日	午前 8 時～午後 2 時

2) 各自常に整理整頓をし, 清潔に保つよう心掛けること。

3) 技工室当番の担当者は, 常に材料の不足分を補充すること。補充材料については管理科（野口 PHS8076) に申し出ること。

4) 技工機の引出しの個人的利用はできない。

5) 班貸出し材料一式の責任者は班長又は副班長とし, 補綴科配属の期間中責任をもって管理し, クール終了時に次のクールの補綴科配属に引き継ぐ。材料の不足については材料室に申し出ること。

臨床実習の概要

臨床実習は、教養科目と専門科目（基礎歯科医学・臨床歯科医学）の講義・実習によって学んできた知識・態度及び技能を、臨床の場で患者さんに応用し、その体験を通して、歯科医学に関する知識の統合、技術の習得及び総合的判断力を身につけることにある。

臨床実習にあたっては、患者さんの人格を尊重し、全人的に把握することを学び、将来、歯科医療に携わる者としての不可欠な態度を体得し、倫理観を確立し、患者さんとのコミュニケーション技術を習得することが重要である。

一般目標（GIO）

松戸歯学部在建学の精神「メディコデンタル【医学的歯学】」を念頭に、患者さんから信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。

行動目標（SBOs）

- ① 患者さんを全人的に理解し患者さん中心の医療を行うために、患者さん、ご家族と良好な人間関係を確立する。
- ② チーム医療の円滑な遂行のために、院内医療チームの構成員としての役割を理解し、他の医療関係者と協調し行動する。
- ③ 患者さんの問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付ける。
- ④ 患者さんおよび医療関係者にとって安全な歯科医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画する。
- ⑤ 患者さんの抱えている問題を総合的に把握し、問題解決するための治療計画を作成し、評価する。
- ⑥ 歯科疾患と障害の予防および治療における基本的知識・技術・態度を身につける。
- ⑦ 一般的によく遭遇する歯科疾患の応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を実施する。
- ⑧ 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療を常にフィードバックし、臨床能力を向上させる態度を身につける。

臨床実習 2 の実施方法

1. 実習のシステム

- 1) 現行の 12 班を、第 1 グループ (A・B 班)、第 2 グループ (C・D 班)、第 3 グループ (E・F 班)、第 4 グループ (G・H 班)、第 5 グループ (I・J 班)、第 6 グループ (K・L 班) に 6 分割する。
- 2) セメスターを 6 期に分割する。
- 3) 各グループは、期間単位で配属表に従いローテイトする。

2. 各診療科の臨床実習

- 1) 担当患者さんの診療は担当医員のアポイント帳のもとに行い、配属とは無関係に行う。
- 2) 臨床検査科、特殊歯科は配属により、口腔インプラント科は口腔外科配属期間中に班別実習およびアポイントにて行う。
- 3) 放射線科はセメスター期間を通して配属によって行う。
- 4) 初診科、小児歯科、矯正科および麻酔・全管科は、セメスターの期間を通してアポイントにより行う。但し、見学・介補等については期間単位で指定された期間に行う。
- 5) 再生歯科、顎関節・咬合科、スポーツ・睡眠健康歯科は配属期間中に、予防管理科および医科は、セメスターの期間を通して自由にアポイント等により行う。
- 6) 予診（診断情報）の収集は、日程表に従い行う。
- 7) 全ての診療科の臨床実習は、学生のアポイント帳に実習時間（内容）を記載・検印して行う。

3. 臨床実習ノート

臨床実習における見学・介補、実技等の実習内容の記録として、各診療部の指示により使用する。臨床実習ノートには患者様の氏名、住所、電話番号等は記載してはならない。患者さんの情報が記載されているためこのノートの管理には十分注意すること。

4. アポイント帳

診療のアポイントに際して予約検印を受け、診療時あるいは診療後に指導医員に終了検印を受ける。予約・終了検印の両者をもって評価対象となる。見学・介補の際も同様に指導医員欄に検印を受ける。

5. 新患担当

数名の患者さんを担当する。診療等の記録は症例カードに記載し、各担当医員の検印を受ける。

6. 引継ぎ患者

新患担当患者さんおよび引継診療患者様とあわせて約 10 数名の患者さんを常に担当する。実習期間に終了、中止等の場合は治療計画書の変更手続き等を治療計画室に必ず届け出ること。随時補充をうけることとなる。

7. 出欠席について

午前 月～金 歯科医学総合講義 5 で出席調査 (8:40～9:30)

土曜日 8:40 401 教室 13:00 各配属先診療科

朝出欠席調査時は院内白衣に着替えておくこと（着替えていない場合欠席とみなす）。

歯科医学総合講義 5 に関する試験実施日は、朝の出席は試験の出欠をもって行う。

注) 臨床実習の実施方法についての詳細は日程表を参照のこと。

平成23年度 臨床実習2 配属表

期	1	2	3	4	5	6	
週日+土曜日	19+5	18+4	19+4	17+3	19+3	17+3	
期間	10月1日～10月29日	10月31日～11月26日	11月28日～12月24日	12月26日～1月23日	1月30日～2月25日	2月27日～3月21日 (予備日：3月22日～3月31日)	
担当患者の処置	セメスター期間を通してアポイントによって行う						
班	初診科, 小児歯科, 矯正科: セメスター期間中配属, アポイントにより行う 放射線科, 特殊歯科, 臨床検査科: セメスター期間中配属により行う 再生歯科, 顎関節・咬合科, スポーツ・睡眠健康歯科, 口腔インプラント科: 班別実習, 配属期間中にアポイントにより行う 麻酔・全身管理科: セメスター2期間の範囲でアポイントにより行う 医科, 予防管理科: 期間中に自由にアポイント等により行う						
AB	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		
CD	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先	再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	
EF	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科
GH	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		
IJ	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先		麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	
KL	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科		再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科

*配属の詳細日程表を参照のこと

平成23年度

平成23年度	内 容 方 法 形 式			10月																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15								
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土								
				第 1 期																						
初 診 科	予診 (患者配当)	4名1組 2日	配 属			A-1 A-2 G-1 G-2		B-1 B-2 H-1 H-2		C-1 C-2 I-1 I-2		D-1 D-2 J-1 J-2					E-1 E-2 K-1 K-2		F-1 F-2 L-1 L-2		A-3 A-4 G-3 G-4		B-3 B-4 H-3 H-4			
	初診実施	2名1組 2日	アポイント																							
放射線科	見 学 ・ 実 技	4名1組 2日連続	配 属			L-1 L-2 L-3		L-1 L-2 L-3		L-4 L-5 L-6		L-4 L-5 L-6					L-7 L-8 L-9		L-7 L-8 L-9		K-1 K-2 K-3 K-4		K-1 K-2 K-3 K-4			
補 綴 科	実地・見学・介補等		配 属	C D I J																						
保 存 科	実地・見学・介補等		配 属	E F K L																						
歯 周 科	実地・見学・介補等		配 属	E F K L																						
口腔外科	実地・見学・介補等 病棟見学会		配 属	A B G H																						
小児歯科	見 学 ・ 介 補	木・金・土 2~4名配属	配 属						G-4 G-5 G-6		G-1 G-2 G-3		G-7 G-8 G-9									G-10 G-11 G-12		F-1 F-2 F-3		F-4 F-5
	見 学 ・ 介 補		アポイント																							
矯 正 科	症例分析・ 治療計画の立案	4名1組 終日2日	配 属			J-1 J-2 J-3 J-4				J-5 J-6 J-7 J-8		J-9 J-10 K-1 K-2		I-1 I-2 I-3 I-4				I-5 I-6 I-7 I-8		I-9 I-10 I-11 I-12		H-1 H-2 H-3 H-4		H-5 H-6 H-7 H-8		
	見 学 ・ 介 補	2~3名1組	アポイント																							
再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	見 学 ・ 介 補		アポイント	C D I J																						
口腔インプラント科	見 学		配属 アポイント 実習	A B G H																						
麻酔・全身管理科	見 学	5~6名1組 1日 (火・木曜日)	アポイント	A B G H																						
特殊歯科	見学・介補・口頭試問	2名1組 1日 (月~金曜日)	配 属			A-5 A-6		B-5 B-6		C-5 C-6		D-5 D-6					E-5 E-6		F-5 F-6		A-7 A-8		B-7 B-8			
臨床検査科・病理診断科	見学・介補	2~3名1組 1日 (月~金曜日)	配 属			D-1 D-2		E-1 E-2		F-1 F-2		A-3 A-4					C-3 C-4		B-3 B-4		D-3 D-4		E-3 E-4			
医 科	見 学	3名1組 1日 (月~金曜日)	アポイント 希望選択																							
出 欠 席 午前 歯科医学総合講義5 (月~土 8:40 401) 午後 配属先 17:00 (土:13:00)	保存・補綴科 (4班)			A B / C D																						
	3F再生歯科/ｽﾎｰﾌﾟ・睡眠健康歯科 (2班)			E F																						
	口腔外科	1班		G																						
	歯周科	1班		H																						
	初診科	1班		I																						
	小児歯科	1班		J																						
	放射線科	1/2班		K1~5																						
	特殊歯科	1/2班		K6~10																						
矯正科	1班		L																							

臨床実習2

10月															11月																										
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12														
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土														
第 1 期															第 2 期																										
	C-3 C-4 I-3 I-4	D-3 D-4 J-3 J-4	E-3 E-4 K-3 K-4	A-5 A-6 L-3 L-4	F-3 F-4 G-5 G-6			B-5 B-6 H-5 H-6	C-5 C-6 I-5 I-6	D-5 D-6 E-5 E-6	J-5 J-6 K-5 K-6	F-5 F-6 L-5 L-6			A-7 A-8 G-7 G-8	B-7 B-8 H-7 H-8	C-7 C-8 I-7 I-8											E-7 E-8 K-7 K-8	F-7 F-8 L-7 L-8	A-9 A-10 G-9 G-10	C-9 C-10 H-9 H-10	B-9 B-10 I-9 I-10									
	K-5 K-6 K-7 K-8	K-5 K-6 K-7 K-8	J-1 J-2 J-3 J-4	J-1 J-2 J-3 J-4	J-5 J-6 J-7 J-8			J-5 J-6 J-7 J-8	J-9 J-10 K-9 K-10	J-9 J-10 K-9 K-10	I-1 I-2 I-3 I-4	I-1 I-2 I-3 I-4			I-5 I-6 I-7 I-8	I-5 I-6 I-7 I-8	I-9 I-10 I-11 I-12										I-9 I-10 I-11 I-12		H-1 H-2 H-3 H-4	H-1 H-2 H-3 H-4	H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-7 H-8	G-1 G-2 G-3 G-4								
CD I J															EFKL																										
EFKL															ABGH																										
EFKL															ABGH																										
ABGH															CD I J																										
				F-9 F-10	F-6 F-7 F-8	D-1 D-2 D-3						E-1 E-2 E-3	F-4 F-5 F-6	F-7 F-8 F-9					E-10 E-11 E-12	D-1 D-2 D-3																			D-4 D-5	D-6 D-7 D-8	D-9 D-10
		G-1 G-2 C-3 G-4	G-5 G-6 G-7 G-8	G-9 G-10 G-11 G-12	F-1 F-2 F-3 F-4			F-5 F-6 F-7 F-8	F-9 F-10 H-9 H-10	F-1 F-2 F-3 F-4	E-5 E-6 E-9 E-10	E-7 E-8 E-11 E-12			D-1 D-2 D-3	D-5 D-6 D-7 D-8	C-1 C-2 C-3 C-4									C-5 C-6 C-7 C-8		C-9 C-10 C-11 C-12	B-1 B-2 B-3 B-4	B-5 B-6 B-7 B-8	B-9 B-10 D-9 D-10	A-1 A-2 A-3 A-4									
CD I J															EFKL																										
ABGH															CD I J																										
ABGH															ABGH																										
	C-7 C-8	D-7 D-8	E-7 E-8	F-7 F-8	A-9 A-10			B-9 B-10	C-9 C-10	D-9 D-10	F-9 F-10 L-9	E-9 E-10			A-11 A-12	E-11 E-12	C-11 C-12			G-1 G-2						I-1 I-2	J-1 J-2	H-1 H-2	K-1 K-2	L-1 L-2											
	F-3 F-4	A-5 A-6	B-5 B-6	C-5 C-6	D-5 D-6			E-5 E-6	F-5 F-6	A-7 A-8	C-7 C-8	B-7 B-8			D-7 D-8	F-7 F-8	E-7 E-8			A-9 A-10						B-9 B-10	C-9 C-10	E-9 E-10	D-9 D-10	F-9 F-10 L-9											
AB/CD															GH/ I J																										
EF															KL																										
G															A																										
H															B																										
I															C																										
J															D																										
K1~5															E1~6																										
K6~10															E7~12																										
L															F																										

平成23年度

平成23年度	内容 方法 形式			11月																										
				13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27												
				日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日												
				第 2 期																										
初診科	予診(患者担当)	4名1組 2日	配属	D-9 D-10 J-9 J-10	E-9 E-10 K-9 K-10	F-9 F-10 L-9	A-11 A-12 G-11 G-12	C-11 C-12 I-11 I-12			E-11 E-12	A-1 A-2 G-1 G-2		D-1 D-2 E-1 E-2	J-1 J-2 K-1 K-2															
	初診実施	2名1組 2日	アポイント																											
放射線科	見学・実技	4名1組 2日連続	配属	G-1 G-2 G-3 G-4	G-5 G-6 G-7 G-8	G-5 G-6 G-7 G-8	G-9 G-10 G-11 G-12	G-9 G-10 G-11 G-12	F-5 F-6 F-7 F-8		F-5 F-6 F-7 F-8	F-1 F-2 F-3 F-4		F-1 F-2 F-3 F-4	F-9 F-10 H-9 H-10															
補綴科	実地・見学・介補等		配属	E F K L																										
保存科	実地・見学・介補等		配属	A B G H																										
歯周科	実地・見学・介補等		配属	A B G H																										
口腔外科	実地・見学・介補等 病棟見学会		配属	C D I J																										
小児歯科	見学・介補	木・金・土 2~4名配属	配属				C-1 C-2 C-3	C-4 C-5 C-6	C-7 C-8 C-9						C-10 C-11 C-12	B-1 B-2 B-3	B-4 B-5													
	見学・介補		アポイント																											
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4名1組 終日2日	配属	A-5 A-6 A-7 A-8	A-9 A-10 A-11 A-12	L-1 L-2 L-3	L-4 L-5 L-6	L-7 L-8 L-9			K-1 K-2 K-3 K-4	K-5 K-6 K-7 K-8		J-1 J-2 J-3 J-4	J-5 J-6 J-7 J-8															
	見学・介補	2~3名1組	アポイント																											
再生歯科 顎関節咬合科 スポーツ・睡眠健康歯科	見学・介補		アポイント	E F K L																										
口腔インプラント科	見学		配属 アポイント 実習	C D I J																										
麻酔・全身管理科	見学	5~6名1組 1日 (火・木曜日)	アポイント	A B G H																										
特殊歯科	見学・介補・口頭試問	2名1組 1日 (月~金曜日)	配属	H-3 H-4	G-3 G-4	I-3 I-4	J-3 J-4	K-3 K-4			L-3 L-4	I-5 I-6		H-5 H-6	G-5 G-6															
臨床検査科・病理診断科	見学・介補	2~3名1組 1日 (月~金曜日)	配属	A-11 A-12	C-11 C-12	E-11 E-12	G-1 G-2	H-1 H-2			I-1 I-2	J-1 J-2		L-1 L-2	K-1 K-2															
医科	見学	3名1組 1日 (月~金曜日)	アポイント 希望選択																											
出欠席 午前 歯科医学総合講義5 (月~土 8:40 401) 午後 配属先 17:00 (土:13:00)	保存・補綴科 (4班)			G H / I J K L A B C D E 1~6 E 7~12 F																										
	3F再生歯科/スポーツ・睡眠健康歯科 (2班)																													
	口腔外科	1班																												
	歯周科	1班																												
	初診科	1班																												
	小児歯科	1班																												
	放射線科	1/2班																												
	特殊歯科	1/2班																												
矯正科	1班																													

臨床実習 2

11月					12月																									
28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25			
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
第 3 期																														
F-1 F-2 L-1 L-2	A-3 A-4 G-3 G-4	B-3 B-4 C-3 C-4	I-3 I-4 H-3 H-4	D-3 D-4 J-3 J-4			F-3 F-4 K-3 K-4	F-3 F-4 L-3 L-4	A-5 A-6 G-5 G-6	B-5 B-6 H-5 H-6	C-5 C-6 I-5 I-6			A-7 A-8 G-7 G-8	B-7 B-8 H-7 H-8	C-7 C-8 I-7 I-8	D-7 D-8 J-7 J-8	E-7 E-8 K-7 K-8					F-7 F-8 L-7 L-8	A-9 A-10 G-9 G-10	B-9 B-10 H-9 H-10	C-9 C-10 I-9 I-10				
F-9 F-10 H-9 H-10	E-1 E-2 F-3 F-4	F-1 F-2 F-3 F-4	E-5 E-6 F-7 F-8	F-5 F-6 F-7 F-8			F-9 F-10 F-11 F-12	E-9 E-10 E-11 E-12	D-1 D-2 D-3 D-4	D-1 D-2 D-3 D-4	D-5 D-6 D-7 D-8			D-5 D-6 D-7 D-8	C-1 C-2 C-3 C-4	C-1 C-2 C-3 C-4														
ABGH																														
CDIJ																														
CDIJ																														
EFKL																														
			B-6 B-7 B-8	B-9 B-10	A-1 A-2 A-3					A-4 A-5 A-6	A-7 A-8 A-9	A-10 A-11 A-12					L-1 L-2 L-3	L-4 L-5 L-6	L-7 L-8 L-9									K-1 K-2 K-3		K-4 K-5
J-9 J-10 K-1 K-2	I-1 I-2 I-3 I-4	I-5 I-6 I-7 I-8	I-9 I-10 I-11 I-12	H-1 H-2 H-3 H-4			H-5 H-6 H-7 H-8	G-1 G-2 G-3 G-4	G-5 G-6 G-7 G-8	G-9 G-10 G-11 G-12	F-1 F-2 F-3 F-4			F-5 F-6 F-7 F-8	F-9 F-10 H-9 H-10	E-1 E-2 E-3 E-4	E-9 E-10 E-11 E-12							E-5 E-6 E-7 E-8	D-1 D-2 D-3 D-4	D-5 D-6 D-7 D-8				
ABGH																														
EFKL																														
CDIJ																														
J-5 J-6	K-5 K-6	L-5 L-6	G-7 G-8	H-7 H-8			I-7 I-8	J-7 J-8	K-7 K-8	L-7 L-8	H-9 H-10			G-9 G-10	I-9 I-10	J-9 J-10	K-9 K-10	G-11 G-12			I-11 I-12	A-1 A-2	B-1 B-2	E-1 E-2						
G-3 G-4	H-3 H-4	I-3 I-4	J-3 J-4	K-3 K-4			L-3 L-4	G-5 G-6	H-5 H-6	I-5 I-6	J-5 J-6			K-5 K-6	L-5 L-6	G-7 G-8	H-7 H-8	I-7 I-8			J-7 J-8	K-7 K-8	L-7 L-8	G-9 G-10						
AB/CD																														
EF																														
G																														
H																														
I																														
J																														
K1~5																														
K6~10																														
L																														

平成23年度5年次臨床実習2班別名簿(129名)

★ 班長 荒川 勇斗
 ☆ 総副班長 桑島 梓、長谷川 英生
 ○ 班長 △ 副班長

A (12名)			B (10名)			C (12名)			D (10名)			E (12名)			F (10名)							
院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名					
1	37001	相原 弘一朗	1	37011	市橋 有希子	1	36023	大西 真尋	1	37035	加藤 由佳子	○	1	37044	小島 佑介	○	1	37057	志田 祐次郎			
2	35129	浅川 龍人	2	36012	伊藤 祐子	2	36023	大沼 拓也	2	37038	菊地 美帆	△	2	37045	小西 賀美		2	37058	柴 隆三			
3	36004	浅見 華子	○	37013	岩井 泰伸	3	37022	岡村 祐香	3	36041	北川 亮		3	37046	小松 昌平		3	36056	島田 啓示			
4	34004	鮎田 憲賢		37014	岩永 有二	○	36027	岡山 弥史	4	37039	木村 奈緒		4	37047	近藤 亜美		4	37060	杉谷 春佳			
5	37002	荒井 千明	△	37015	植木 皓介	5	37023	小川 貴大	5	35038	工藤 史明		5	37048	近藤 仁美		5	37061	鈴木 亜沙子			
★	6	37003	荒川 勇斗	6	37016	植木 美穂	6	37024	小川 高廣	6	36039	菊地 勇人		6	37049	近藤 里栄		6	35059	鈴木 千世里		
7	37004	荒巻 さやか	7	37017	江口 大貴	7	37025	荻原 太郎	☆	7	37041	桑島 梓		7	37050	齋藤 梨紗		7	37062	鈴木 晴香		
△	8	37006	井汲 玲雄	8	37018	芦川 満美子	8	37026	小澤 依里子	△	8	37042	桑原 靖		8	37051	酒井 晓弘	△	8	35061	鈴木 裕紀	
	9	37007	石井 倫子	9	37019	大島 隆史	9	36030	小野 博尊		9	37043	河野 芳広		9	37052	佐藤 俊秀		9	36060	鈴木 実	
	10	37008	石田 菜莉江	10	37021	大塚 一聖	10	37028	小野 真奈美		10	36048	小島 亮人		10	37053	澤田 絵理		10	37063	須長 敬	
	11	37009	石渡 幸志			11	37029	小尾 祥						11	37054	三條 詩織						
	12	37010	磯 崇之			△	37034	加藤 崇訓						12	37055	塩味 寛子						
G (12名)			H (10名)			I (12名)			J (10名)			K (10名)			L (9名)							
院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名					
1	37064	関端 哲士	1	37073	鶴田 満大	1	37086	野嵜 健大	1	35136	三浦 千晶	1	36134	水鳥 愛	1	37120	横田 侑紀					
2	37065	芹 澤多恵	○	37074	手代木 悠太	2	36098	長谷川 沙織	2	37132	三浦 千尋	2	37109	武藤 真嗣	2	37121	横引 良評					
3	37066	染谷 ひとみ		37075	豊田 健一郎	☆	37088	長谷川 英生	3	37099	水島 萌菜	3	37110	村尾 健斗	3	37122	吉田 陽佳					
4	36070	高 栖史江	4	37131	中川 瑠奈	4	37089	福井 俊介	○	4	37100	水野 将吾	4	37111	守谷 真理絵	4	37124	若林 光				
△	5	36072	高橋 宏彰	5	37077	永倉 愛夢	5	35098	福岡 亘	5	37101	三角 瑠衣子	5	37113	梁島 悠	○	5	37125	渡辺 静			
6	36075	田口 修一郎	6	36089	仲村 栄海	6	37090	福田 広大	6	37102	水村 豪	6	37114	山崎 瑞穂	6	34120	柚木 陽介					
7	33075	高橋 和樹	7	37081	奈良 まゆ	7	37091	藤井 望	7	37103	湊 友香里	7	37115	山下 公子	△	7	37126	渡辺 正樹				
8	37068	玉木 亜弥	8	37083	根本 万里	8	37093	古川 小百合	△	8	37104	宮内 良樹	8	37116	山田 真莉子	8	37127	渡邊 悠太				
9	37070	津久井 一成	9	37084	野上 栄里	9	37094	細井 美江		9	37106	宮田 晃輔	△	9	37117	山本 恵理		9	37128	渡邊 由梨子		
○	10	37071	辻 篤志	△	37085	能田 佳祐	△	37096	増田 学		10	37107	宮本 祥子	○	10	37119	杠 葉加奈子					
11	36083	坪井 典明				11	37098	松田 亮介														
12	37072	露木 美聡				12	36108	松本 龍太郎														

平成23年度 臨床実習2

診療科名：初診科

①担当教員：伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，青木伸一郎，遠藤弘康，岡本康裕，
酒井 淳，梶本真澄

②一般目標(G I O)：

問題指向型医療 (POS) に則って主要疾患や主要症状に対するプライマリー・ケアが実践できるようになるために、診断情報の収集に必要な診察手技やコミュニケーション技法の修得し、診断情報を収集・分析・評価し、問題解決するための計画の立案、そしてプライマリー・ケアへという診断プロセスを問題指向型診療録 (POMR) の作成を通して修得する。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 初診患者において面接技法に則った医療面接を行う。
- 2) 正確で十分な病歴（患者の社会的・経済的・心理的背景も含む）を聴取する。
- 3) 得られた病歴を整理してカルテに記載する。
- 4) 初診患者において得られた診察所見から異常所見を抽出し、それを手がかりに仮説演繹的な診断思考を行う。
- 5) 基本的な診断を施行し、得られた所見を整理してカルテに記載する。
- 6) エックス線写真から、典型的な読影所見を抽出し解釈する。
- 7) 口腔における主要疾患について診断する。
- 8) 口腔における主要疾患について、基本的な治療方針（初期計画）を立案する。
- 9) 患者の現在の病態について、これまでの経過をふまえて担当医に説明する。

④実施方法

初診実習（患者実技）
予診実習（患者実技）
C.D.C（症例示説）

⑤実施場所

初診科診療室
会議室

⑥評価方法

評価シートと行動観察により総合的に評価する。

⑦備 考（その他留意事項等）

- 1) 初診患者は応急処置を要することがあるので、適切な対応と病める患者の助けになりたいという真摯な気持ちで実習を行うこと。
- 2) 実習中は患者対応に配慮し、私語は十分慎むこと。
- 3) 臨床実習にふさわしい態度・身なりで取り組むこと。
- 4) 集合時間を厳守すること。
- 5) わからないことは、学生同士で解決せず尋ねること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：臨床検査科

①担当教員：牧村正治、福本雅彦、深津 晶、續橋 治、布施 恵、市村真奈、田中宏征、小西里美

②一般目標(GIO)：臨床実習1で習得した知識を基にして、安全かつ適切に歯科診療を行うために必要な臨床検査の検査項目、知識を習得する。さらに、検査結果から患者の全身状態を理解する。

③到達目標(SBOs)：

- 1) 患者さんの心理状態に配慮することができる。
- 2) 貧血について説明できる。
- 3) 出血性素因について説明できる。
- 4) 炎症・感染症について説明できる。
- 5) 肝機能について説明できる。
- 6) 腎機能について説明できる。
- 7) 糖尿病について説明できる。
- 8) 血圧について説明できる。
- 9) 検査データを適切に分析することができる。
- 10) 患者さんの症状に対して必要な検査を行うための検査項目を選択できる。

④実施方法：試験、口頭試問、グループ討議、検査データ分析レポート。

⑤実施場所：配属日によって実施場所が異なるので、歯科臨床検査医学教室に集合し、教員と実施場所へ移動する。

⑥評価方法：実習態度、試験、口頭試問、レポート分析により評価する。

⑦備考(その他留意事項等)

- 1) 清潔な白衣と帽子を着用する。
- 2) 配属日は歯科臨床検査医学の医局に集合する。
- 3) 試験は国家試験の過去問題を中心に出題する。
- 4) 4年生授業で配布したプリントを持参する。
- 5) 実習終了後担当教員から評価表に押印を受ける。
- 6) 検査データ分析レポートを2週間以内に提出する。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：病理診断科

①担当教員：山本浩嗣，宇都宮忠彦，木場秀夫，久山佳代，森川美雪，松本敬

②一般目標(G I O)：歯科診療に必要な病理検査法の知識を習得し、病理診断書を作成する。

③到達目標(S B O s)：

SBOs:

- (1)病理検査の種類と目的を説明できる。
- (2)病理検査の流れを説明できる。
- (3)染色方法の種類と目的を説明できる。
- (4)病理診断書の内容を理解できる。

④実施方法

1) 病理組織・細胞診標本および病理診断書の理解
実際の標本を観察し所見を述べ、診断書を読んで結果を理解する。

⑤実施場所

- 1) 病理検査室
基本的に病理検査室に集合する。
- 2) 口腔病理学講座
病理標本作製に支障がある場合は、口腔病理学講座で行う。

⑥評価方法

1) 口頭試問・小テスト
病理検査の種類、目的、染色方法、患者の心理状態等について質問する。

⑦備考(その他留意事項等)

アトラス等持参すること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：放射線科

①担当教員：金田 隆，池島 厚，小椋一朗，森進太郎

②一般目標(G I O)：

将来，歯科医師として顎顔面領域のエックス線撮影および画像診断ができるようになるために，各種画像検査法，口腔・顎顔面領域の正常像および病態像を修得する。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 口内法エックス線検査ができる。
- 2) パノラマエックス線検査ができる。
- 3) デジタルエックス線画像システムの操作ができる。
- 4) 頭部単純エックス線検査が説明できる。
- 5) CT, MRIおよび超音波検査が説明できる。
- 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断ができる。

④実施方法

1. 放射線科配属 (2日間)
 - 1) 放射線診療業務
 - 2) 画像検査見学
 - 3) Teaching file
2. 他科配属及び配当患者の撮影実習
 - 1) 配当患者の撮影は担当学生の必須とする。
 - 2) 撮影後の読影は2週間以内に必ず行うこと。

⑤実施場所

放射線科診療室

⑥評価方法

1. 放射線科配属：口頭試問，実習態度，Teaching file の読影所見等にて行う。
2. 他科配属及び配当患者の撮影実習：エックス線撮影および読影所見にて評価する。

⑦備 考(その他留意事項等)

- 1) 参考図書
 - (1) 歯科放射線学実習書 (日本大学松戸歯学部放射線学講座編)
 - (2) エッセンス歯科放射線 (学建書院)
 - (3) 歯科放射線診断 teaching file 第2版 (砂書房)
 - (4) 画像でみる歯科放射線(CDR) (わかば出版)
- 2) 実習上の諸注意
 - (1) 実習は積極的に真摯な態度で臨むこと。
 - (2) 機器の取扱いには十分注意すること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：保存科（保存修復）

①担当教員：池見宅司、平山聡司、鈴木英明、神谷直孝、岡田珠美、森俊幸、
笹本恭子、岩井啓寿、福嶋千春、壹岐宏二

②一般目標(G I O)：保存修復処置を実施するために、臨床に必要な知識・態度および
技能を身につける。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 硬組織疾患の診査・各種検査ができる。
- 2) 処置内容に即した適切な器材・薬剤が準備できる。
- 3) MIを考慮した齲窩の処置ができる。
- 4) コンポジットレジン修復の術式と使用器具について説明できる。
- 5) コンポジットレジン修復の前準備ができる。
- 6) 単純窩洞のコンポジットレジン修復ができる。
- 7) メタルインレー修復の術式と使用器具について説明できる。
- 8) メタルインレー修復における印象、咬合採得および仮封を行うことができる。
- 9) 歯科用セメントの種類と特徴について説明できる。
- 10) 各種歯科用セメントが使用できる。
- 11) 処置内容に即した適切な術前・術後の説明ができる。
- 12) 処置内容に即した適切な介補ができる。

④実施方法

保存修復症例の介補と、それに関連する項目の口答試問、実技、日直業務

- 1) 修復処置の介補を30回以上実施。
 - 2) 介補症例に関連する口答試問（期日あり）の実施。
 - 3) 実技は単純窩洞（複雑窩洞でも可）のコンポジットレジン修復を1症例以上実施。
- ※保存科配属期間中、計3回の日直業務を実施する。

⑤実施場所

附属病院保存科診療室

⑥評価方法

1) 介補・口答試問実施数：60%

2) 実技の評価：40%

上記の他に臨床実習態度を加味する。

⑦備 考（その他留意事項等）

事前学習の上で介補を行うこと。介補後ただちに担当医員に介補検印を受け、口答試問の課題と期日（介補後おおむね1～2週内）を担当医員に確認し評価表に記入する。期日内に口答試問を受けない場合、評価は介補のみの0.5症例と換算する。介補検印は教育医員または教育医員の併印で可。実技は教育医員の検印のみ有効。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：保存科（歯内療法学）

①担当教員：松島 潔、辻本恭久、川島 正、小塚昌宏、三浦 浩、岡部 達、
神尾直人、神尾素代、諸橋利朗

②一般目標(G I O)：歯内療法処置を実施するために、臨床に必要な知識、態度および技能を修得する。

③到達目標(S B O s)：

- (1)問診および各種検査ができる。
- (2)主訴および必要な検査から処置方針の決定ができる。
- (3)歯内療法処置に必要な器材、薬剤が準備できる。
- (4)適切な診療介補ができる。
- (5)ラバーダム防湿ができる。
- (6)根管洗浄が適切にできる。
- (7)根管拡大を適切にできる。
- (8)根管長測定を適切にできる。
- (9)根管充填を適切にできる。
- (10)根管充填後の裏層を行える。
- (11)根管充填後のX線写真を判読できる。
- (12)患者に根管充填後の注意事項について説明できる。

④実施方法

(1)診療介補とそれに関連する実技実習 ①歯内療法の介補を50回以上行う。②評価表の実技を評価表の実施項目に従って実施する。臨床見学については2名までとする。
(介補者は除く)

⑤実施場所 病院診療室

⑥評価方法

- ①介補ならびに実施検印数
- ②臨床実習態度

⑦備考（その他留意事項等）

平成23年度 臨床実習2

診療科名：歯周科（予防管理科）

①担当教員名：小方頼昌、吉野祥一、中山洋平、目澤 優、河野善治

②一般目標(GIO)：実際の臨床を通じて歯周治療するための技能、態度を習得し、総合的に歯周治療を理解する。

③到達目標(SBOs)：

- 1) 歯周組織検査の診査項目を列記できる。
- 2) 歯周組織検査を行うことができる。
- 3) 歯周組織検査の結果から治療計画を立案できる。
- 4) 歯周基本治療の内容について説明できる。
- 5) 歯周基本治療を行うことができる。
- 6) 歯周外科治療の術式について説明ができる。
- 7) 歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。
- 8) サポートィブペリオドンタルセラピー(SPT)で行う項目について列挙できる。

④ 実施方法

実習方法と実習内容 LS

1. 実習方法

診療見学・診療介補および実技、歯周外科手術の見学、症例検討会：CPC、口頭試問、日直、

2. 実習内容

1) 必修症例と症例数

〈見学、介補および実技〉

実習方法と実習項目の表を参照。症例数については65症例とする（これ以外に、歯周外科治療を4症例以上見学および介補を行う。）。各項目の必修症例の見学および介補を行い、臨床実習評価として担当医に評価をもらう。

〈症例検討会：CPC〉

配属期間に関わらず、班ごとに症例検討会に参加する。症例検討会（CPC）は、原則として毎週金曜日、午後6時より第4実習準備室にて行うので、班ごとに決められ月日（別紙で配布）の検討会に参加すること。正当な理由で参加できない場合は事前にその旨を申し出て予備日に参加することを認める。

〈レポート〉

症例検討会（CPC）に参加した学生は担当医からレポートの課題を受けレポートを提出する。担当医は院内番号に従って定める（下記を参照）。レポートの提出に際しては口頭試問を行う。レポート、口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。

1;大橋 2;小山 3;佐々木 4;鈴木 5;武井 6;目澤 7;吉野 8;岡野 9;岡野 10;中山

〈歯周外科治療の見学〉

歯周外科治療の見学者は1症例について5名までとする（担当学生を含まない）。ただし、担当学生がいない場合に限り介補担当者として1名の追加を認める。歯周外科治療の見学を希望する学生はオベ台帳に学生番号、氏名を記入し担当医の検印をただちに受けること（検印を受けていない学生はオベの見学を無効とする。）。また、正当な理由で見学できなくなった場合は、その旨を担当医に連絡し検印を受け二十線で氏名が確認できるように訂正すること（オベ台帳は診療に関する書類であるので修正液の使用は認められない。）。

その際、原則として代理者の氏名、学生番号を空欄に記載し検印を受けること。歯周外科治療の見学を行った学生は、その症例内容に応じたレポートを作成し提出すること。レポートの内容について不十分な場合は、見学が無効となることもあるので注意すること。

2) 選択症例と症例数

〈見学、介補および実技〉

歯周科における実習は原則的に配当患者に対する介補および実技をもって評価する。配当患者については各班毎に担当医を定めるので下記の担当医から各自2名以上の配当を受けること。

担当医一覧：A;小方 B;大橋 C;鈴木 D;小方 E;小方 F;岡野 G;中山

H;佐々木 I;目澤 J;小山 K;目澤 L;吉野

⑤実施場所

付属病院歯周科診療室

⑥ 評価方法

原則として診療室における指導責任者、担当医による指導に従い、見学・介補および実技を行うが、症例内容については必要に応じて随時、口頭試問、レポートなどを課す。歯周科における評価は、配属期間に限らず評価する。チーム診療の担当、歯周科担当に対する介補、実習は配属期間に限らず評価の対象とする。ただし、見学については配属期間に限って認めるが、歯周外科治療の見学および介補は、配属期間に限らず認める。

<評価基準>

- 1) 目標症例・選択症例（65症例の達成率、外科治療がある場合、準備、見学、介補など、それ以外に歯周外科治療を4症例以上見学および介補を行う。）
- 2) 歯周科の日直としての義務に対する
- 3) CPCの評価
- 4) 口頭試問、レポートの評価
- 5) 介補および実技（歯周精密検査、ブラッシング指導、スケーリング・ルートプレーニング、PMTC）の手技の評価

以上に対する総合的評価をセメスターの評価とする。

⑦備 考（その他留意事項等）

1. 症例の評価は、見学、介補および実技後にその内容を理解しているかをチェックしてから検印を行う。
2. 期間中は、日直または指導責任者、担当医の指示に従う。また、班ごとに指導責任者の指示に従い、担当医と密接に連絡を取りながら実習が円滑に行えるように計画的に実習を遂行すること。実習実施日の前日までに必ず担当医とアポイントを取り、アポイント帳に検印を受けること。また、当日の準備などについては、担当医の指示を仰ぐこと。担当医、指導責任者の許可なく、診療室に不在の学生は、実習を放棄したものとみなす。万が一欠席する場合は、担当医の許可を得て適切な指示を仰ぐこと。
3. 歯周科の評価表は、毎日必ず持参し、評価表の記入については、見学、介補および実技表について、症例ごとに日付、該当する細項目名および番号を記入し検印を受けること。
4. 歯周科配属期間中は、各日3～5名の日直を設ける。歯周科日直の義務は以下のこととし、やむ負えない理由で日直が行えない場合は必ず代理を立て、その旨を日直担当医に報告すること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：補綴科（総義歯）

①担当教員：河相安彦，成田紀之，飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本統，桑原克久，林幸男，中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口伸之，井上正安，菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島由樹，末光弘宜，宗邦雄，中村耕実，義隆淑子，會田雅啓，小林平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，加藤仁美，金子珠美，楠瀬有紗，斉藤美佳，田部井直子

②一般目標(G I O)：総義歯の診査・診断，術式および予後について見学・介補と実技を通じて理解し，その意義と基本的臨床能力を身につける。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 旧義歯の診査・診断をすることができる。
- 2) 予備印象を採得することができる。
- 3) 模型上の解剖学的ランドマークについて説明できる。
- 4) 床外形を推定することができる。
- 5) 筋圧形成を部分的に行うことができる。
- 6) 最終印象の目的と方法を説明できる。
- 7) ボクシングを行い，作業模型を作製できる。
- 8) 適切な咬合床を作製できる。
- 9) アーラインと床後縁との関連を理解し設定できる。
- 10) 顎の対向関係位の設定を行うことができる。
- 11) フェイスボウトランスファーを行うことができる。
- 12) 描かれたゴシックアーチの解釈ができる。
- 13) 人工歯の選択基準を理解し，人工歯選択を行える。
- 14) 両側性平衡咬合と片側性平衡咬合を説明できる。
- 15) 仮床義歯試適時の診査を行うことができる。
- 16) 完成義歯装着時の診査項目を説明できる。
- 17) 総義歯装着時の患者指導を行うことができる。
- 18) 総義歯装着後の調整を行うことができる。

④実施方法

見学・介補に就いた患者における見学・介補・実技および配当症例患者における見学・介補・実技

⑤実施場所

付属病院補綴科診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室

⑥評価方法

見学・介補については検印表への検印による。実技については実技評価表による採点を行う。OSCATによる評価を行う。その他、予習・復習・レポート等の内容により評価することがある。

⑦備考（その他留意事項等）

事前学習の上で見学・介補を行うこと。見学・介補における検印は教育医員または教育医員の併印で可。実技は教育医員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。

※ * 実技においては，臨床実習2で終わるようにする。

※ ** 実技においては，臨床実習1に引き続き臨床実習2で終わるようにする。

※臨床実習1および2において，配当症例患者を配当班に配当する。

配当班員で可能な限り総義歯製作の治療過程において，見学・介補および実技を行い，総義歯製作の過程を理解し，治療法を習得する。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：補綴科（クラウンブリッジ）

①担当教員：會田雅啓，小林 平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，
加藤仁美，金子珠美，楠瀬有紗，齊藤美佳，田部井直子，河相安彦，
成田紀之，飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本 統，桑原克久，
林 幸男，中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口信之，
井上正安，菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島 由樹，末光弘宣，
宗 邦雄，中村耕実，義隆淑子

②一般目標(G I O)：

配当患者または見学について患者におけるクラウンブリッジ処置の治療過程において、見学・介補および実技を行い、その過程を理解し、治療法を習得する。

③到達目標(S B O s)：

- 1) クラウンブリッジの診査項目を理解し行うことができる。
- 2) 予備印象を採得することができる。
- 3) クラウンブリッジの設計を含めた治療計画を立案することができる。
- 4) 支台築造の目的と方法について述べるることができる。
- 5) 歯肉圧排の目的を理解し行うことができる。
- 6) クラウンおよびブリッジの支台歯形成について述べることができる。
- 7) 最終印象の方法を述べることができる。
- 8) プロビジョナルレストレーションの作製および仮着ができる。
- 9) 咬合支持に応じた咬合採得を理解し行うことができる。
- 10) フェイスボウトランスファーの意義と操作方法を理解し行うことができる。
- 11) シェードテイキングを述べることができ行うことができる。
- 12) 咬合器の目的と取り扱いについて述べることができる。
- 13) クラウンブリッジ試適時における診査項目を理解することができる。
- 14) クラウンブリッジの仮着を理解し行うことができる。
- 15) クラウンブリッジの装着について述べることができる。
- 16) クラウンブリッジの術後管理について指導ができる。
- 17) 装着後のトラブルおよび変化の原因と対処法について述べることができる。

④実施方法

配当患者における見学・介補・実技および配当患者以外の見学・介補・実技

⑤実施場所

病院診療室，院内技工室，職員技工室，医員用技工室

⑥評価方法

見学・介補・実技・レポートについて検印数および評価点数により採点を行い、実習態度等の内容も含め総合的に判断して最終評価とする。

⑦備 考（その他留意事項等）

事前学習の上で見学・介補を行い、不明な点は事後補うこと。見学・介補における検印は教育医員または教育医員の併印で可。実技は教育医員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。別途必要な評価表を配布する。

クラウンブリッジ補綴学

実習項目	実習方法	各項目の到達目標
1) 診査	見学・介補・レポート	クラウンブリッジのための診査の方法を理解する。
2) 予備印象	見学・介補・レポート	クラウンブリッジのための予備印象を理解する。
	実技	クラウンブリッジのための予備印象ができる。
3) 補綴物の除去	見学・介補・レポート	メタルコア、クラウン、ブリッジの除去方法を理解する。
4) 支台築造のための形成	見学・介補・レポート	メタルコアのための形成方法を理解する。
5) 支台築造のための印象	見学・介補・レポート	メタルコアのための印象法を理解する。
6) 失活歯のメタルコアによる支台築造	見学・介補・レポート	メタルコアによる支台築造を理解する。
7) 失活歯の成形充填材による支台築造	見学・介補・レポート	成形充填材による支台築造を理解する。
8) 歯肉圧排	見学・介補・レポート	歯肉圧排の方法を理解する。
	実技	歯肉圧排ができる。
9) 単冠の支台歯形成	見学・介補・レポート	一連の単冠の支台歯形成を理解する。
10) ブリッジの支台歯形成	見学・介補・レポート	一連のブリッジの支台歯形成を理解する。
11) 単冠およびブリッジの印象採得	見学・介補・レポート	クラウンブリッジの最終印象を理解する。
12) 咬合採得（咬合床なしの症例）	見学・介補・レポート	クラウンブリッジの咬合採得ができる。
	実技	クラウンブリッジの咬合採得を理解する。
13) 咬合採得（咬合床ありの症例）	見学・介補・レポート	クラウンブリッジの咬合採得を理解する。
14) プロビジョナルレストレーションの作製	見学・介補・レポート	プロビジョナルレストレーションの作製を理解する。
15) 試適、調整、仮着 仮着	見学・介補・レポート	クラウンブリッジの試適、調整、仮着を理解する。
	実技	クラウンブリッジの仮着ができる。
16) 装着	見学・介補・レポート	上記の試適、調整、仮着を含め、クラウンブリッジの装着を理解する。
17) シェードテイキング	見学・介補・レポート	クラウンブリッジのシェードテイキングを理解する。
18) フェイスボウトランスファー	見学・介補・レポート	フェイスボウトランスファーの術式を理解する。
19) その他	見学・介補	見学内容が説明できる。

20) 技工	技工	1～9の項目の内、2つ以上の技工操作を行うことができる。
1. 研究用模型の作製	技工	研究用模型を作製することができる。
2. 診査診断のための咬合器付着	技工	診査・診断のための研究用模型を咬合器付着し、各部を調整することができる。
3. 各個トレーの作製	技工	各個トレーを作製することができる。
4. メタルコアのワックスアップ	技工	メタルコアのワックスアップができる。
5. 作業用模型の作製	技工	作業用模型を作製することができる。
6. 作業用模型の咬合器付着	技工	作業用模型を咬合器付着し、各部を調整することができる。
7. クラウンブリッジのワックスアップ	技工	クラウンブリッジのためのワックスアップができる。
8. 埋没， 鑄造， 研磨	技工	クラウンブリッジの埋没・鑄造・研磨ができる。
9. その他の技工操作	技工	

技工は必修項目とし、

1. 研究用模型の作製 3ケース

3. 各個トレーの作製 3ケース

を含む6ケース以上の技工物を作製しなければならない。

- ・ 予備印象実技は、対合歯の印象でも可。
- ・ 仮着はプロビジョナルレストレーションでも可。
- ・ 研究用模型の作製は上下顎どちらかでも可。
- ・ レポート， 実技は臨床実習1から継続する。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：補綴科（局部床義歯）

①担当教員：河相安彦，成田紀之，飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本統，桑原克久，林幸男，中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口伸之，井上正安，菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島由樹，末光弘宜，宗邦雄，中村耕実，義隆淑子，會田雅啓，小林平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，斉藤美佳，加藤仁美，田部井直子，楠瀬有紗，金子珠美

②一般目標(GIO)：患者個々に適した局部床義歯を作製する基本的臨床能力を身につけるために必要な診査・診断、術式および予後に関する知識、技能および態度を習得する。

③到達目標(SBOs)：

- 1) 局部床義歯作製のための診査項目を述べることができる。
- 2) 局部床義歯作製のための診査を行うことができる。
- 3) 予備印象を採得することができる。
- 4) 局部床義歯の設計を行うことができる。
- 5) 治療計画を担当医とともに立案することができる。
- 6) 支台歯に対する前処置を行うことができる。
- 7) 筋圧形成の目的と方法を述べることができる。
- 8) 最終印象の方法を述べることができる。
- 9) 咬合採得法について述べるすることができる。
- 10) 咬合採得を行うことができる。
- 11) フェイスボウの操作法を説明することができる。
- 12) フェイスボウトランスファーを行うことができる。
- 13) 咬合器の操作法を説明することができる。
- 14) 模型の付着を行うことができる。
- 15) 局部床義歯の試適時における診査項目を述べることができる。
- 16) 局部床義歯の試適を行うことができる。
- 17) 局部床義歯の装着時の調整について述べることができる。
- 18) 装着時の簡単な調整を行うことができる。
- 19) 局部床義歯装着時の患者指導を行うことができる。
- 20) 局部床義歯装着後の調整について述べることができる。
- 21) 簡単な調整を行うことができる。
- 22) 局部床義歯装着後の口腔内変化と義歯のトラブルならびにその対処法について述べるすることができる。
- 23) 耐火模型の作製ができる。
- 24) 維持装置のワックスアップができる。

④実施方法

配当患者における見学・介補・実技および見学・介補に就いた患者における見学・介補・実技ならびに模型実習によるリングクラスプのワックスアップ

⑤実施場所

附属病院補綴科診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室

⑥評価方法

見学・介補については検印表への検印による。実技については実技評価表による採点を行う。その他、予習・復習・レポート等の内容により評価することがある。臨床実習2期間中にすべての実技項目を実施することを目標とする。臨床実習2の期末において、OSCATならびにWebClassによる試験を実施する。WebClassによる試験はすべての項目で合格することを必須とする。

⑦ 備 考 (その他留意事項等)

事前学習の上で見学・介補を行うこと。見学・介補における検印は教育医員または教育医員の併印で可。実技は教育医員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。OSCATならびにWebClassによる試験については詳細決定後に通知する。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：口腔外科

①担当教員：秋元芳明，近藤壽郎，神野良一，石井達郎，西村均，田中茂男，池谷美和，伊藤耕

②一般目標(GIO)：

口腔外科領域における的確な処置(抜歯・難抜歯。埋伏歯の抜歯・外来小手術)を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

小手術症例について3例の症例レポートを提出する。

③到達目標(SBOs)：

：口腔外科領域における的確な処置(抜歯・難抜歯。埋伏歯の抜歯・外来小手術)を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

SBOs:①口腔外科領域における的確な処置に必要な器材の準備ができる。

②処置に対する患者への説明ができる。

③処置前に患者のバイタルの測定ができる。

④処置の介補ができる。

⑤小手術症例の症例レポートが記載できる。

④実施方法

⑤実施場所

口腔外科外来診療室

⑥評価方法

介補症例の達成度，レポートの内容を総合的に評価する。

配属期間中に抜歯介補症例を20症例以上行う。そのうちの埋伏抜歯症例抜歯介補は7例以上とする。

配属期間中に小手術症例5症例以上の介補および見学を行う。そのうち3例についてレポートを担当教員に提出する。

⑦備考(その他留意事項等)

平成23年度 臨床実習2

診療科名：矯正科

①担当教員：葛西一貴，今村隆一，山口 大，小野修一，五関たけみ，榎本 豊，
斎藤勝彦，岡野美紀，中島 亮，根岸慎一，徳永理利

②一般目標(G I O)：
歯科矯正治療を行うために必要な基本的知識・技能および態度を修得する。

③到達目標(S B O s)：
1) 模型分析が実施できる。
2) セファログラム分析が実施できる。
3) 模型・セファログラム分析から不正咬合の診断ができる。
4) 診断から治療方針を立案できる。

④実施方法 A 分析・治療方針の立案

- 1) 模型分析：歯列弓長径・幅径および歯槽基底弓長径・幅径を計測しポリゴン図表に記載する。
 - 2) セファログラム分析：トレースから必要な計測を行いポリゴン図表を完成する。
 - 3) 模型・セファログラム分析の結果から診断し，治療方針を立案する。
 - 4) 治療に用いる矯正装置を選択し，作用機序および治療後の変化について討論する。
- B 症例見学：指定された患者の矯正治療について見学・介補を行う。

⑤実施場所

- 1) 分析・治療方針の立案：第3 A， B会議室・図書館
- 2) 症例見学：矯正科診療室

⑥評価方法

- 1) 分析・治療方針の立案（80％）：評価シートにより評価を行う。
- 2) 症例見学（20％）：臨床実習期間中に4回の見学および2回の介補（合計6回）を行う。

⑦備 考（その他留意事項等）矯正治療の見学・介補の際には患者様に不快な思いをさせないように十分に配慮し言動に気を配ること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：小児歯科

①担当教員：清水邦彦，松根健介，荒井清司，小川 京，臼井 朗，池松奈々，
小尾友美，折野大輔，平井則光

②一般目標(G I O)：
小児の歯科治療および口腔疾患の予防を行うために基礎的な知識、技能、態度を身につける。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 小児の齲蝕治療を理解する。
- 2) 小児の抜歯および外傷について理解する。
- 3) 小児の保隙について理解する。
- 4) 小児の対応について理解する。
- 5) 小児の予防処置を理解し、行う。
- 6) 小児の定期健診を理解する。
- 7) 小児の症例検討を行う。
- 8) 小児の小手術について理解する。
- 9) 断髄法の介補を行う。

④実施方法

見学・介補および実技にて行う。

⑤実施場所

小児歯科診療室

⑥評価方法

別紙の見学・評価表に記載した事項に従い評価する。

⑦備 考 (その他留意事項等)

平成23年度 臨床実習2

診療科名：麻酔・全身管理科（全身管理）

①担当教員：渋谷 鉦、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏

②一般目標（G I O）：安全な歯科治療を施行するために、全身管理法および精神鎮静法の基本的な知識と技術を習得する。

③到達目標（S B O s）：

1. 周術期管理に必要なモニターを選択し、患者に装着することができる。
2. 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点について述べるができる。
3. 精神鎮静法の適応とその実施法について述べるができる。
4. 緊急偶発症発生時の対処法について述べるができる。

④実施方法

見学、症例により介補。

全身管理症例の見学（臨床実習1において全身管理を見学していない者は必須）と笑気吸入鎮静法の相互実習を必須とする。追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。

⑤実施場所

手術室、全身管理室および各科外来

⑥評価方法

見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。

⑦備考（その他留意事項等）

- ・実習は配属期間中に行う。配当患者で全身管理が必要な場合は、選択症例とすることができる。
- ・症例の配当は毎週木曜日、17時以降に401教室で行う。
- ・実習日が決定したならば担当医からアポイント帳に押印を受ける。また、実習日時の2日前までに担当医から集合時間や症例内容、注意事項について説明を受けること。
- ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。
- ・笑気吸入鎮静法相互実習は、後日試験をする。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：麻酔・全身管理科（全身麻酔）

①担当教員：渋谷 鉦、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏

②一般目標(G I O)：安全な歯科治療を施行するために、全身麻酔法の基本的な知識と技術を習得する。

③到達目標(S B O s)：

1. 問診（医療面接）をはじめとする各種データから、術前のリスク判定ができる。
2. 基本的なバイタルサインの測定ができる。
3. 全身麻酔の流れについて説明することができる。
4. 全身麻酔に用いられる薬剤について述べることができる。
5. 全身麻酔後の合併症予防と疼痛管理について述べるができる。

④実施方法

見学（臨床実習1において全身麻酔を見学していない者は必須）。追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。

⑤実施場所

手術室および全身管理室

⑥評価方法

見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。

⑦備 考（その他留意事項等）

- ・実習は配属期間中に行う。術前診察日と手術日（火または木）の2日間を実習日とし、1症例の見学者数は2名までとする。
- ・症例の配当は毎週木曜日17時以降に401教室で行う。
- ・実習日時が決定したらアポイント帳に検印を受ける。
- ・術前診察前日までに、見学者全員で担当医から見学に関する説明を受けること。
- ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：特殊歯科

①担当教員：妻鹿純一，伊藤政之，野本たかと，梅澤幸司，林佐智代，田中陽子，
仁平暢子，水野貴誠，加藤英理，村上芽梨，竹蓋菜穂

②一般目標(GIO)：

歯科医療の対象としてのスペシャルニーズがある人の存在を知り、その臨床の実際を体験することを通じてスペシャルニーズがある人を患者として受け入れることができる歯科医師としての知識・態度を修得する。

③到達目標(SBOs)：

SBOs:

1. 診療の流れを理解して説明することができる。
2. スペシャルニーズがある人の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
3. 特殊歯科における行動調整法を観察し、説明できる。
4. 各歯科治療の介補を実践できる。
5. スペシャルニーズがある人のホームケア指導について説明できる。

④実施方法

1. 実習方法

診療見学、各治療の介補、症例検討、レポート、臨床能力到達試験

2. 実習内容

1) 症例と症例数 (minimum requirement)

(1) 〈必修症例〉

- ・治療の介補症例 : 症例数 1
- 実習内容 各治療の介補

(2) 〈見学症例〉

- ・治療症例 : 症例数 8
- ・実習内容 見学

2) 症例検討

症例検討は原則として、各指導医が提示した患者データをもとにホームケア指導について検討する。

3) レポート

レポート課題は症例検討時に検討をした患者に対するホームケア指導について各指導医が出題する。また、レポートは原則として症例検討終了1週間後の正午までに特殊歯科内の提出棚に提出とする。

4) 臨床能力到達試験

⑤実施場所

特殊歯科診療室

⑥評価方法

実習態度、評価表記載の症例数・内容、症例検討、レポート、臨床能力到達試験

⑦備 考 (その他留意事項等)

1. 手続き

- 1) 実習前に担当医の指示により、必修症例の診療録ならびに電子カルテの閲覧を行う初回のコンタクトを設ける。この際、アポイント帳の実習予定日に押印を受ける。
- 2) 初回のコンタクトは、実習開始3日前(土、日、祝祭日は含まない)の17:00である。実習当日までに、症例患者に係わる障害、行動調整手段等について事前に自習する。
- 3) 実習当日は9:30までに診療室へ集合する。なお、試験等で集合時間に遅れる場合は事前に特殊歯科に申し出る。
- 4) 評価表への検印は、口頭試問終了後1週間以内にもらう。1週間を過ぎた場合は再実習を科す。
- 5) 実習終了時にアポイント帳に押印してもらう。
- 6) 押印後の評価表は臨床実習2終了時にまとめて回収するので、それまで各自保管する。
- 7) レポート(ノート)は、担当医の指示に従い、速やかに特殊歯科診療室内レポート提出棚に提出する。

2. 注意事項

1) 見学時の注意

- (1) 診療室内では私語を慎む。
- (2) 患者への不用意な言葉を控える。(患者の障害について、恐怖・不安をかき立てるような言動など)
- (3) 患者に誠意を持ち、温かい心で接する。
- (4) 障害による“困難さ”には、必要に応じて手を貸すことが大切であるが、基本的には見学中は指導医から指示されたこと以外には手を貸さない。
- (5) 患者の面前に大勢で立たない。
- (6) 患者、保護者、介護者のいるところで指導医への質問は控える。待合室や隣の治療室にも気を配る。
- (7) 見学症例数が到達数に達しても、実習時間中は見学をする。

2) 見学時の服装

- (1) 院内実習で定められた服装。ただし、マスク、帽子は原則的に使用しない。
- (2) 胸、腹部ポケット内に必要以上の筆記用具等を入れない。

3) 臨床実習2シラバス

配布された臨床実習2シラバスは臨床実習を受けるにあたって、事前に理解すべき事項が記載してある。したがって、十分に理解しているものとして臨床実習を進める。必ず、実習前に熟読しておく。

- 4) 実習当日は各自、既に配布してあるA4版のノートを持参する。
- 5) 特別な理由なく学生からの実習日変更依頼は認めない。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：再生歯科

①担当教員：和田守康，長濱文雄，内山敏一，牧村英樹，西谷知子，菊地信之

②一般目標(G I O)：

再生歯科治療を実践できるようになるために必要な基本的知識・技能および態度を習得する。

③到達目標(S B O s)：

1. 歯の移植・再植の概念を習得する。
2. 外科的歯内療法を習得する。
3. 歯の移植・再植および外科的歯内療法を考慮した治療計画を立案できる。
4. 一般的な診療の概念を理解する。

④実施方法

一般診療およびOpeにおける見学および介補

⑤実施場所

第3総合診療室 ユニットNo19～27

⑥評価方法

1. 臨床実習態度
2. 介助および実技の評価
3. レポート

⑦備考(その他留意事項等)

患者と実際に接することから、清潔な身なりで、また、適度な緊張感をもって介助・Ope見学を行うこと。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：顎関節・咬合科

①担当教員：成田紀之，西村均，内田貴之，小見山道，大久保昌和，神谷和伸，
下坂典立，飯田崇，大峰浩隆

②一般目標(G I O)：
顎関節ならびに口腔顔面痛患者の診査・診断プロセスと治療に関する知識を習得する。

③到達目標(S B O s)：
1) 診査プロトコールを理解する。
2) 診査・診断プロセスを理解する。
3) 管理計画を立案する。

④実施方法
見学・介補に就いた患者における見学・介補

⑤実施場所
附属病院3階診療室3、5、顎関節・咬合科 (口・顔・頭の痛み外来(歯科))

⑥評価方法
症例見学 (3症例) を行う。担当医へ見学症例のレポートを提出する。担当医からレポートの内容の口頭試問を受ける。

⑦備 考 (その他留意事項等)
わからないことは何でも聞き、担当医から診断の基準をよく習ってください。

参考図書	
TMDを知る	クインテッセンス出版1997
ベルの口腔顔面痛	クインテッセンス出版1998
口腔顔面痛 基礎から臨床へ	クインテッセンス出版2001
Okeson TMD	医歯薬出版 2006
口腔顔面痛の最新のガイドライン改訂第4版	クインテッセンス出版2009

平成23年度 臨床実習2

診療科名：口腔インプラント科

①担当教員：加藤 仁夫, 村上 洋, 井下田 繁子, 玉木 大之, 北川 剛至,
毛塚 和哉, 安岡 沙織, 櫻井 甫, 薄倉 優美, 竹野 智崇

②一般目標(G I O)：

インプラント治療に関する基本的知識, 技能, 態度を修得する。

③到達目標(S B O s)：

- 1) 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを説明できる。
- 2) 現代のインプラントの成功の基準, リスク因子を説明できる。
- 3) 口腔インプラントの選択基準を説明できる。
- 4) インプラントの基本構造, 表面性状を説明できる。
- 5) インプラント体の埋入術式を説明できる。
- 6) インプラントに必要な解剖学的形態について説明できる。
- 7) インプラント材料について説明できる。
- 8) インプラントに対する生体反応について説明できる。
- 9) インプラント治療の特徴と利点について説明できる。
- 10) インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
- 11) インプラント治療に必要な診察と検査を説明できる。
- 12) インプラント治療における治療計画の立案を説明できる。
- 13) インプラント治療計画の説明とインフォームドコンセントの重要性を説明できる。
- 14) インプラント手術について説明できる。
(2次手術, 骨増生法など補助手術を含む)
- 15) インプラント治療の印象採得について説明できる。
- 16) インプラントの上部構造物の適応と補綴術式について説明できる。
- 17) インプラントの上部構造物の装着と調整 (メンテナンスを含む) について説明できる。
- 18) インプラントのメンテナンスの必要性について説明できる。
- 19) インプラントのメンテナンス時の検査項目を説明できる。
- 20) インプラントのメンテナンスに用いる器具と術式を説明できる。
- 21) インプラント治療における合併症と偶発症の対処法を説明できる。
- 22) インプラント周囲炎の病態を説明できる。

④実施方法

1. 計画室担当患者（チーム）
 - 1) 計画室で配当された担当患者がインプラントを希望した場合にはインプラント治療に関する一連の診断と治療に関与し、患者実技、見学、介補、技工を行なう。
 - 2) インプラント治療患者を担当希望の場合は担当教員に相談すること。
2. インプラント患者説明会の参加
 - 1) 説明会の開催日時と場所は院内に掲示してある。参加希望者は、診療室横の表に院内番号、氏名を記入し、開催時間の10分前までに口腔インプラント科に集合し、担当教員の指示を受けること。
 - 2) 1回の説明会の参加人数は6名まで（原則）とする。
 - 3) 所要時間は1時間30分～2時間程度。なお途中退室はできない。
3. インプラント外科処置見学
インプラント1次手術および関連手術の見学を希望するものは口腔インプラント科医員に申し入れ、所定の台帳に院内番号と氏名を記入すること。1回の見学者は2名までとする。キャンセル、変更などがあるので、前日までに必ず担当医に確認し、指示を受け時間通りに見学すること。
4. インプラント外来の見学と介補
インプラント2次手術や補綴処置の印象・装着などの予定は口腔インプラント科外来に掲示してあるので確認し、担当医に申し出ること。
5. 上記の項目は配属期間中に実施すること。担当患者の場合には、その限りではない。
6. レポートは表紙に、院内番号、学籍番号、氏名、見学日、担当医、題名、提出日を記載し、A4版5枚以内にまとめ、見学より10日以内に担当医に提出すること。
(図や表をいれること)

⑤実施場所

附属病院口腔インプラント科診療室、3階口腔外科小手術室、4階手術室、総合診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室

⑥評価方法

* 見学・介補については検印表への検印による。

* レポート提出の際には、口頭試問を実施する。

⑦備考（その他留意事項等）

* 事前学習の上で見学・介補を行うこと。

* 見学・介補、レポートにおける検印は口腔インプラント科(院内掲示あり)の教育医員または教員医員の併印で可。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：スポーツ・睡眠健康歯科

①担当教員：川良美佐雄、黒木俊一、小見山道、鈴木浩司、浅野隆、渡辺愛斗

②一般目標(G I O)：患者の口腔外傷予防や健康増進に対する要望に応えるために、スポーツ歯科医学や睡眠健康科学に必要な知識、態度、技能を習得する。

③到達目標(S B O s)：

1. スポーツ歯学の役割について説明できる
2. スポーツにおける顎口腔系の動態について説明できる
3. スポーツマウスガードの目的を説明できる
4. いびきや睡眠時無呼吸症候群の病態を説明できる
5. いびきや睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応について説明できる

④実施方法

1. 実習方法：診療室での見学，介補
2. 診療後のレポート，口頭試問

⑤実施場所

病院棟 3 階診療室

⑥評価方法

1. 実習方法：診療室での見学，介補
2. 診療後のレポート，口頭試問

⑦備 考（その他留意事項等）

1. 臨床実習2の期間内に1回以上の見学を行い，レポートを提出。その後口頭試問を行う。
2. 見学ができなかった場合は課題に対するレポート提出を行い，その後口頭試問を行う。
3. レポートは見学後2週間以内に担当医に提出する。
4. レポート提出後，速やかに口頭試問を受ける。
5. 見学症例についてはアポイント状況を確認し，担当医員に申し出ること。

平成23年度 臨床実習2

診療科名：脳神経外科

①担当教員：平山 晃康，荻野 暁義

②一般目標(G I O)：

頭蓋顎顔面および頭頸部領域患者に対し幅広い診断と治療計画が立案できるようになる。また、手術（血管内手術を含む）において必要な最低限の知識、技能、および態度を学修する。

③到達目標(S B O s)：

1. 適切な処置手術が選択できる。
2. 必要な術式が説明できる。
3. 助手として手術に参加できる。
4. 術前術後の患者管理について説明できる。

④実施方法

(1) 学生に対する手術症例見学

術前回診、手術見学および介補、術後回診、レポート、口頭試問

(2) 選択症例臨床実習2の期間内に行なわれる手術症例の中から学生が希望するものを見学することができる。

1 症例につき学生2～3名。

⑤実施場所

脳神経外科外来、手術室、血管撮影室

⑥評価方法

1. レポートの提出
2. 口頭試問

⑦備考（その他留意事項等）

個人情報保護方針（プライバシーポリシー）

平成 20 年 4 月 1 日

日本大学松戸歯学部附属病院

病院長 和田 守康

日本大学松戸歯学部附属歯科病院（以下、当院という。）は、患者様の個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、教職員、学生及び関係者（以下、教職員等という。）に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1 個人情報の収集・利用・提供

医療機関としての診療の内容と規模ならびに教育研究機関としての特性を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する規則を定め、これを遵守します。

2 個人情報の安全対策と教育

当院は、個人情報保護の重要性について、教職員等に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどに関する予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3 個人情報の保護に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本国の法令・ガイドライン及びその他の規範を遵守します。

4 継続的改善

当院は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規則を策定・運用し、運用状況について定期的に確認し、これを継続的に見直し、必要に応じて改善して行きます。

当院における個人情報の管理者及びお問合せ先
個人情報保護管理責任者 病院長 和田 守康
個人情報に関する問合せ先 患者様相談窓口
電話：047-360-9511

患者様の個人情報について

平成 20 年 4 月 1 日
日本大学松戸歯学部付属病院
病院長 和田 守康

日本大学松戸歯学部の付属機関であります当病院では、取得した患者様の重要な個人情報を含む医療に関する記録を、医療機関としてだけでなく教育研究機関として、下記のとおり所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 患者様の個人情報は、各種法令に基づいた院内規程を守ったうえで下記の目的に利用されます。

① 当病院での利用

- (1) 患者様がお受けになる医療サービス
- (2) 医療保険事務
- (3) 患者様に関係する管理運營業務(入退院等の病棟管理, 会計・経理, 医療事故に関する報告, 医療サービスの向上)
- (4) 医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

② 当病院および日本大学松戸歯学部での利用

- (1) 歯学系教育
- (2) 症例に基づく研究(研究活動については関連する法令や倫理指針等を遵守いたします。)
- (3) 外部監査機関への情報提供

なお、これらの利用に当たりましては、可能な限り匿名化するよう努力いたします。

③ 他の事業者等への情報提供

- (1) 他の病院, 診療所, 助産所, 薬局, 訪問看護ステーション, 介護サービス事業者等との医療サービス等に関する連携
- (2) 他の医療機関等からの医療サービス等に関する照会への回答
- (3) 患者様の診療等にあたり外部の医師等の意見・助言を求める場合
- (4) 歯科技工や検体検査業務の委託その他の業務委託
- (5) 患者様のご家族への病状説明
- (6) 医療保険事務(保険事務の委託, 審査支払機関へのレセプトの提出)
- (7) 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- (8) 関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等
- (9) 関係法令に基づいて事業者等からの委託を受けて健康診断を行った場合における、事業者等へのその結果通知
- (10) 歯科医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体, 保険会社等への相談又は届出等
上記利用目的の中で疑問がある場合は、お申し出ください。

2 上記利用目的以外に患者様の個人情報を利用する場合は、個別に患者様の同意をいただくことといたします。

3 患者様の個人情報については次の権利があります。

- ① 患者様は所定の手続きのうえ、自己の個人情報の開示を請求することができます。
- ② 患者様は開示を受けた自己の個人情報の内容について、所定の手続きのうえ、訂正を請求することができます。
- ③ 患者様は自己の個人情報が不適切な取扱いをされていると思われる場合は、所定の手続きのうえ、自己の個人情報の利用の停止・消去・提供の停止を請求することができます。
- ④ なお、患者様からの上記ご請求については必ずしも応じられない場合がありますので、ご留意願います。

4 当病院での患者様の個人情報の取扱いに関する詳細については、下記にお問い合わせください。

以 上
当病院における個人情報の管理者及びお問合せ先
個人情報保護管理責任者 病院長 和田 守康
個人情報に関する問合せ先 患者様相談窓口
電話:047-360-9511

日本大学松戸歯学部付属病院 個人情報保護内規 概要(抜粋)

【教職員等の責務】

教職員等(教職員・学生及び委託契約等に基づき当院施設内で当院の業務を行う者)は、関連する法令、この内規等の定め並びに保護管理者及び保護担当者の指示に従い、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

【個人情報保護体制】

1. 統括責任者(個人情報保護管理者) : 病院長(管理課 511)
2. 各科・各部署等の保護担当者 : 各科・部署等の責任者
3. 委員会 : 付属病院個人情報保護委員会(委員長:病院長)
副委員長・医療情報管理部長(オペレータ室 632)

【個人情報の適切な取扱い】

【収集の開始等】: 業務として個人情報の保有を新たに開始しようとするときは、あらかじめ保護担当者を通じて保護管理者に届け出て承認を得なければならない。また、すでに承認を得ている事項を変更しようとするときは、あらかじめ保護担当者を通じて保護管理者に届け出て承認を得なければならない。

【保有個人情報の保有の制限等】: 業務として個人情報を保有するに当たっては、業務を遂行するため必要な場合に限られ、かつ、その利用目的をできる限り特定しなければならない。また、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を保有してはならない。

【利用目的の明示】: 本人から直接書面(電磁的記録を含む)に記録された当該本人の個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。(*院内掲示板、ホームページで掲示中)

【適正な取得】: 偽りその他不正な手段により個人情報を取得してはならない。

【正確性の確保】: 利用目的の達成に必要な範囲内で、保有個人情報が正確かつ最新の内容に保たれるよう努めなければならない。

【教職員等の義務】: 業務に関して知り得た個人情報の内容を、みだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

【利用及び提供の制限】: 法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために保有個人情報を利用し、又は提供してはならない。

【アクセス制限等】: アクセス権限を有しない教職員等は、保有個人情報にアクセスしてはならない。また、アクセス権限を有する場合であっても、業務上の目的以外の目的で保有個人情報にアクセスしてはならない。

【複製等の制限】: 業務上の目的で保有個人情報を取り扱う場合であっても、保有個人情報の複製、送信、記憶媒体の外部への送付又は持出し等の行為については、保護管理者の指示に従い行う。

【媒体等の管理】: 保護管理者の指示に従い、保有個人情報が記録されている媒体等を定められた場所に保管するとともに、必要があると認めるときは施錠等を行う。

【廃棄等】: 保有個人情報が不要となった場合には、保護管理者の指示に従い、復元又は判読が不可能な方法により当該情報の消去又は当該媒体の廃棄を行う。

* (紙類はメモ用紙含めシュレッダー処理, フロッピーディスク・CD 等は粉碎, USB メモリ等はデータ消去ソフトで消去)

【取り扱い状況の記録】: 保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、台帳等を整備して、保有個人情報の利用及び保管等の取り扱いの状況について記録する。

【安全確保上の問題への対応】: 保有個人情報の漏えい等安全確保の上で問題となる事案が発生した場合、その事実を知った教職員等は、速やかに保護担当者および保護管理者に報告する。

日本大学松戸歯学部付属病院 病院情報システム運用管理内規 概要(抜粋)

【病院情報システム】

病院情報システムとは、電子カルテシステム及び電子カルテシステムと接続する臨床検査、放射線、医事及び物流等の各部門システムならびに電子カルテシステム及び各部門システムに接続する診療科、センター、各室、事務部門(以下、各部署等という。)の接続機器のことをいう。

【運用の基本原則】

1. 保存義務のある情報の電子媒体による保存については、情報の真正性、見読性、保存性を確保する。
2. 病院情報システムの利用にあたっては、守秘義務を遵守し、当院個人情報保護内規に則り、患者の個人情報を守護する。
3. 病院情報システムへのコンピュータ・ウイルスの侵入及び外部からの不正アクセスに対しては、必要な対策を直ちに講じる。
4. ソフトウェアのインストールや機器あるいは記憶媒体の接続等、許可なく病院情報システムの内容や構成を変更してはならない。

【運用管理体制】

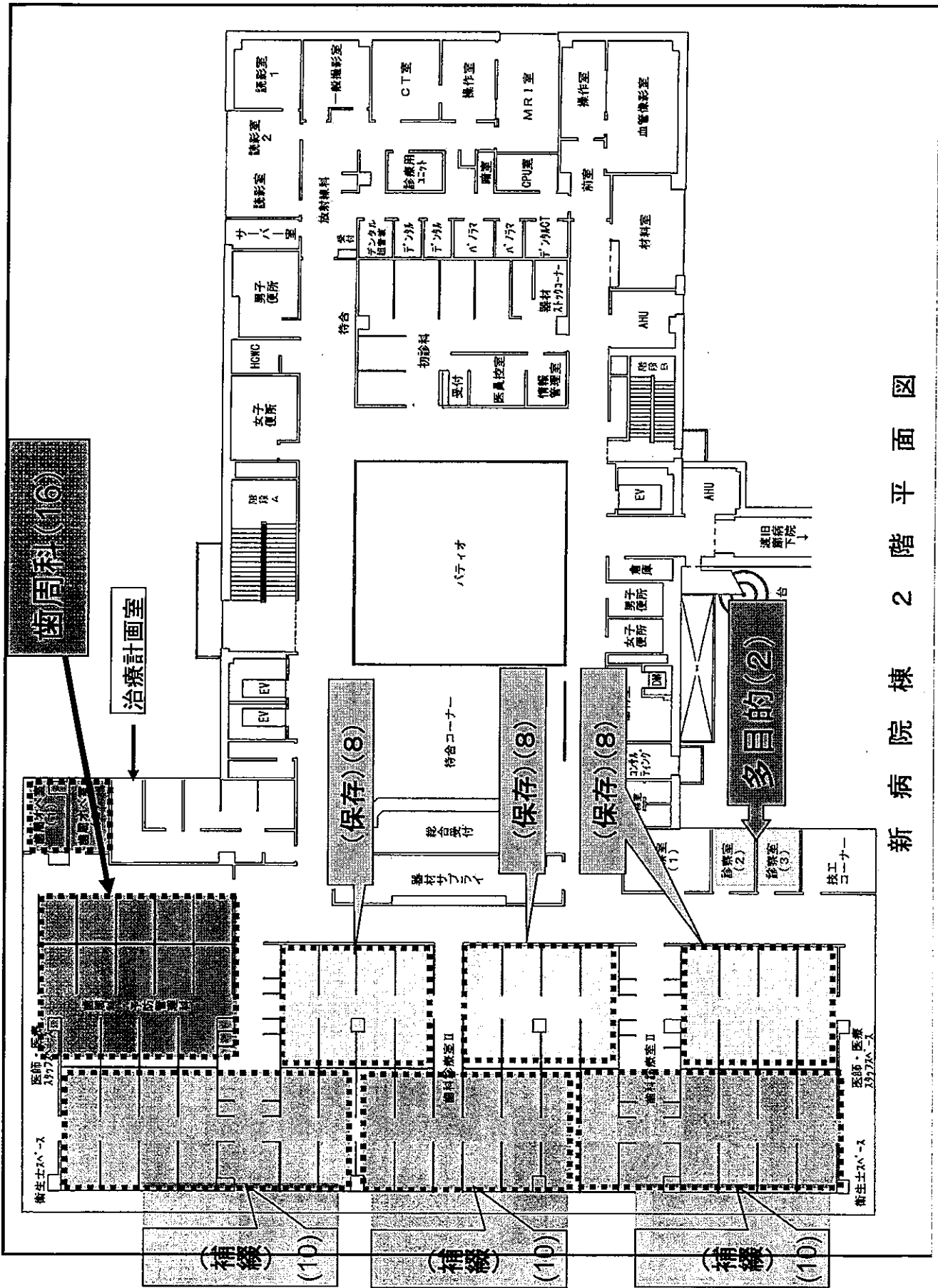
- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 病院情報システムの管理責任者(システム管理責任者) | : 病院長(管理課 512) |
| 2. 病院情報システムの運用責任者(運用責任者) | : 医療情報管理部長(オペレータ室 632) |
| 3. 各部門システム及び各部署等の運用責任者(部門責任者) | : 各科・部署等の責任者 |
| 4. 委員会 | : 電子カルテ委員会 |

【利用者】

システム管理責任者(病院長)が利用を許可した者

【利用者の責務】

1. 利用者認証に関しては、次の事項を遵守しなければならない。
 - (1) 利用者は、病院情報システムを使用する際に必ずID及びパスワード等(以下、パスワード等という。)により自己の認証を行うこと。
 - (2) 利用者は、パスワード等を他人に教えてはならない。また、他人が容易に知ることができる方法でパスワード等を管理してはならない。
 - (3) 利用者が正当なパスワード等の管理を行わないために生じた事故や障害に対しては、その利用者が責任を負う。
 - (4) 情報入力に際して、確定操作(入力情報が正しい事を確認する操作)を行って入力情報に対する責任を明示すること。
 - (5) 与えられたアクセス権限を越えた操作を行わないこと。
2. 病院情報システムから情報を取り出す場合、患者の個人情報を保護するため、事前にシステム管理責任者の許可を得なければならない。ただし、診療の現場で、診療の必要に応じて、患者あるいは患者本人の承諾を得て患者家族あるいは第三者に提供する情報はこの限りではない。
3. 病院情報システムの動作の異常及び安全性の問題点を発見したときは、直ちに運用責任者に報告しなければならない。
4. 利用者が病院情報システムの利用資格を失った場合及び利用しなくなった場合並びに利用状況に変更があつた場合には、運用責任者及び部門責任者に速やかに報告しなければならない。
5. 利用者は、運用責任者が実施する運用指針及び安全性についての研修を受けなければならない。また、運用責任者からの運用及び安全性に関する通知を理解し、遵守しなければならない。
6. 利用者は、許可なく、端末を外部へ持ち出し、又は外部から持ち込んではならない。*(個人情報内規より)
7. 利用者は、端末使用に当たって、保有個人情報が第三者に閲覧されることがないように、使用状況に応じて病院情報システムからログオフを行うことを徹底する等の措置を講ずる。*(個人情報内規より)



新病院棟 2階平面図

平成23年度臨床実習2の成績評価方法

1 評価

- 1) 臨床実習2の評価項目は、各診療科におけるローテーションポリクリ、ポートフォリオ、配属先各診療科臨床実習、治療計画に基づく進行状況および臨床能力到達試験とする。
- 2) 臨床実習2の評価項目を下記に定め総合評価をもって行う。

2 評価項目

1) 臨床実習2

- ① ポートフォリオ (10%)
- ② 治療計画およびカンファランス (25%)
- ③ 配属先各診療科における臨床実習 (40%)
- ④ 臨床能力到達試験 (Objective Structured Clinical Achievement Test: OSCAT) (25%)

2) 配属先各診療科における臨床実習の評価配分

- ① 初診科
- ② 臨床検査科・病理診断科
- ③ 放射線科
- ④ 保存科 (再生歯科を含む)
- ⑤ 歯周科
- ⑥ 補綴科 (顎関節咬合科, スポーツ・睡眠健康歯科を含む)
- ⑦ 口腔外科 (口腔インプラント科, 医科を含む)
- ⑧ 矯正科
- ⑨ 小児歯科
- ⑩ 麻酔・全身管理科
- ⑪ 特殊歯科

3 評価基準

- 1) 評価方法はいずれも100点法で行う。
- 2) 評価項目中、1項目において60点未満の評価があった場合、臨床実習の評価は60点未満とする。

4 付記

- 1) アポイント帳による配当(担当)患者のアポイント等による評価を加点する場合がある。

5 出欠席

- 1) 臨床実習期間中(診療日全日、但し冬季休業中は除く)は、原則として欠席は認めない。ただし傷病に応じて(診断書を要する)対応するので申し出ること。
- 2) 欠席時間を次の通り置き換える。
欠席日数 1ポイント 遅刻 0.5ポイント以上 早退 0.5ポイント以上
- 3) 臨床実習期間中、10ポイント分は欠席時間に入れない。
- 4) 公用欠席および歯学体等(クラブ部長等の書面を要する)は欠席時間に入れない。
- 5) 1ヵ月に6ポイント以上の欠席は、部長・科長会に報告される。

- 6) 22 ポイント（1 ヶ月）以上の欠席者は審議の対象とし、最高点を 60 点とする。
- 7) 欠席，遅刻，早退届けは早急に提出しなければならない。なお，連続して 3 日以上欠席する場合は，あらかじめ（約 1 ヶ月前）書面で必要事項を記入し欠席期間を報告しなければならない。

臨床実習2ポートフォリオについて

臨床実習2のポートフォリオについて

1. 記載方法について

- ① 毎日の記載とチェックは臨床実習1と同様である。
- ② 1週間で1項目についてのみしっかり資料などを集めてまとめる。

また1週間の内容がすべて書き終わったら1項目選び、選んだ項目について資料などを集め記載し、次週金曜日の提出とする。提出は班長がまとめてコンサル担当医に持っていく。評価表を基にコンサル担当医が、班員のチェックを行う。

2. 評価について

- ① 項目は7項目 ($2 \times 7 = 14$ が満点), 月に4週あり ($14 \times 4 = 56$ 点), コンサルは2月に1度ある ($56 \times 2 = 112$ 点)。112点を100点換算し, コンサル時, S, A, B, Cの基準で採点する。

臨床実習2 ポートフォリオ評価表

評価表 No. _____

毎日の振り返り ポートフォリオ項目	記載状態の評価	2	1	0
1. 感じた事、考えた事の記載 【院内実習の活動記録が毎日記載されている】		毎日あり <input type="checkbox"/>		1日以上欠あり <input type="checkbox"/>
今週の振り返り ポートフォリオ項目	記載状態の評価	2	1	0
1. 感じた事、考えた事の詳細 【院内実習の活動記録の詳細が記載されている】		あり <input type="checkbox"/>		なし <input type="checkbox"/>
2. うまくいかなかった事、改善すべき事 【振り返りに役立つと思う学習内容が記載されている】	1) うまくいかなかった事	あり <input type="checkbox"/>		なし <input type="checkbox"/>
	2) 改善すべき事	あり <input type="checkbox"/>		なし <input type="checkbox"/>
3. 知識として確認すべきこと、した事 【実習で利用した他の資料も綴じられている】 【必要に応じて図表・参考文献が使用されている】	資料、図表、文献	2種類以上 <input type="checkbox"/>	1種類 <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>
4. うまくいった事、改善できたこと (先週の目標について) 【自己評価がなされている】	うまくいった事・改善した事	あり <input type="checkbox"/>		なし <input type="checkbox"/>
5. 次週の目標 【今後の課題や学びたい内容が記載されている】		あり <input type="checkbox"/>		なし <input type="checkbox"/>

/14

提出日: H _____ 月 _____ 日 _____ 確認 印

班番号 _____ 氏名 _____

指導医 印

平成23年度 臨床実習 2 ガイダンス

日 時 平成23年10月1日(土)

場 所 401教室

	診療科名	時 間	担当者名
1	院内における諸注意	9:00~9:05	河 相 安 彦
2	初診科	9:05~9:20	内 田 貴 之
3	臨床検査科・病理診断科	9:20~9:35	深 津 晶
4	放射線科	9:35~9:50	森 進太郎
5	保存科	9:50~10:05	神 谷 直 孝
			川 島 正
6	歯周科	10:05~10:20	目 澤 優
7	補綴科	10:20~10:35	大 村 祐 史
			菅 野 京 子
8	口腔外科	10:35~10:50	田 島 秀 人
9	矯正科	10:50~11:05	齋 藤 勝 彦
10	小児歯科	11:05~11:20	清 水 邦 彦
11	麻酔・全身管理科	11:20~11:35	鈴 木 正 敏
12	特殊歯科	12:30~12:45	梅 澤 幸 司
13	再生歯科	12:45~13:00	菊 地 信 之
14	顎関節・咬合科	13:00~13:15	内 田 貴 之
15	口腔インプラント科	13:15~13:30	玉 木 大 之
16	スポーツ・睡眠健康歯科	13:30~13:45	浅 野 隆
17	医科(脳神経外科)	13:45~14:00	荻 野 暁 義

学生番号 _____ (院内番号) _____

氏 名 _____